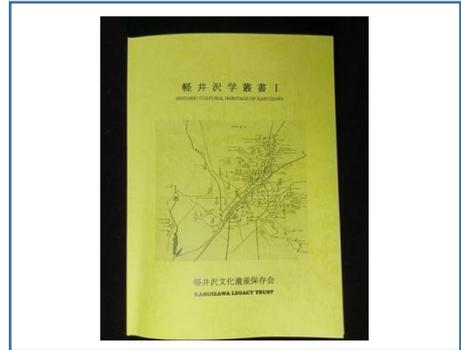


## 令和6年度 軽井沢町社会教育振興事業 事業評価報告書

事業名 : 「避暑地軽井沢」に関する資料の調査研究、収集、叢書の刊行、復刻  
団体名 : 軽井沢文化遺産保存会  
総事業費 : 372,000 円 (うち補助金 186,000 円)

### 事業内容

表題の調査研究の結果を『軽井沢学叢書Ⅰ』において5部構成「避暑地軽井沢考」「避暑地軽井沢のホテル考(明治・大正期を中心に)」「避暑地軽井沢の文化遺産考」「避暑地軽井沢の古絵葉書の復刻」「軽井沢避暑団、軽井沢会のHAND BOOKの一部復刻」で執筆者16名、原稿28本により考察や提言を行った(A4判巻頭カラー20頁、本文144頁200部印刷)。またHAND BOOKについては、『叢書』第5部とは別にデータ集として小冊子を試験的に作成した(A4判68頁)。



### 事業効果

観光地化が進み、また一方で普通の町になりつつある軽井沢において、最優先で保存されるべき明治期の別荘や滅失したオースティンホテル、また半田善四郎、山本直良について、また三笠焼、浅間焼、軽井沢避暑団のHANDBOOKなどについて新たな資料や知見を提示し、避暑地軽井沢の研究と調査に進展をもたらした。

### 【目標・ねらい】

避暑地軽井沢についての新資料の発掘、新しい知見の提示、軽井沢避暑団のHANDBOOKの部分的復刻などを行う。

自己評価(目標達成率)

【 A 】

### 今後の取り組み

『叢書Ⅰ』を寄贈あるいは資料交換した地域の施設、大学の関連研究室や研究機関と共通のテーマを設けてシンポジウム、フォーラム、講演会などを開催し、共同研究の機会をつくり「避暑地軽井沢」についてのさらなる研究調査を行い『叢書Ⅱ』を作成、また著作権が消滅した資料を復刻し、「軽井沢学」の進展に努めたい。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。